

## とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都千代田区五番町 5 - 6 ビラカーサ五番町 1-101
園名	ピノキオ幼児舎番町園

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

食育で野菜を育てて食べよう

<テーマの設定理由>

昨年度すくわく活動を行い子どもたちが食材に触れる機会が増える中で、「食育」に興味が出てきた。また、系列姉妹園と共に有機栽培農家と契約して「ピノーフーム」の活動を取り組むことで一層「食」への関心が高まったので今回のテーマを選んだ。

### 2. 活動スケジュール

4月～5月

千代田区のみんなの畑を利用して土に触れる活動や花植えと水やり。

6月・・・ピノーフームと中継を結びサツマイモの苗植えの様子を観察。

7月・・・園内でオクラとピーマンの生育開始。

8月・・・育てた野菜で幼児はピザ作り、乳児は野菜スタンプを行う。

9月・・・サツマイモがどのように育ったのかをピノーフームから中継で見る。

11月・・・親子遠足を行い、中継で見ていたサツマイモと人参の収穫体験を行う。

12月・・・園内でシイタケ栽培を行い、キノコ割きや実際に焼いて風味や味を感じる。

2月・・・保護者会にて、報告会と畑の人参を使用したクッキングの実施。

また、各家庭に職員が収穫した人参とカブを渡した。

2月・・・堆肥の出張授業を園内で受けた。

※定期的に職員が畑に行き収穫の手伝いや苗植えを行う。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

食の興味が広がるよう図鑑や絵本を用意した。また野菜の苗植えや生育を見る中継では子どもが見やすいような環境を作るようにした。

収穫した野菜はみんなで水洗いをして野菜の感触や土の匂いを感じられる活動を行った。

(準備物)

・軍手、花の苗、シイタケ栽培キット、タライ、ピーマンとオクラの苗、肥料、パソコン

### 4. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

はじめは土や畑に興味を広げるように千代田区が行っているみんなの畑で土遊びや花の苗植え体験を行う中で興味関心を養っていった。中継では畑の様子や苗植えがどのように行われているのかを分かりやすく説明しながら行うようにした。

野菜の収穫体験やクッキングでは子どもの興味が広がるような声掛けや環境設定を行うようにした。

#### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

緑の野菜が苦手な子が多い中だったが野菜を苗から育てることで「どんな色で出てくるのかな?」「お花の色とは違うのかな」と野菜が育つことへの興味関心を示していた。

実際に触ったり香りを嗅ぐなかで「いいにおいがする」など五感で感じられた。

クッキングでは自分たちで育てた野菜を切ったり食べたりすることで、今まで野菜を食べなかった子も「1口食べてみる」と食べる姿が見られた。

サツマイモ掘りでは、苗植えから生育の様子をピノファームからの中継を見ていたが、実際に現地で掘ってみると大きさの違いや土の感触に感動していた。「どうやって食べようか」などと保護者との会話にも繋がっていた。

## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

子どもの興味や関心を持てたり、広がったりするには。保育者の声掛けや関わりが重要であることに気が付けた。最初は野菜が苦手な子どもが多かったが、実際に触れたり食べたりすることで野菜への興味や自分たちで育てた野菜への愛着が湧いてきていた。また水をあげないと どうなってしまうのか、どれぐらいの水の量が適量なのかを子どもたちと話しながら行えたことも良かった。今後も「食」に興味関心を広げられるような関わりを増やしていく。

